

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	秋ぎく20a、夏ぎく10a、電照ぎく10a、小ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目													冬至芽移植……………
2年目		……………	親株摘心	挿し芽	◎—摘心	—————	—————	—————	—————	□~~~~~□			

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (F) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	50 m ²	4,620,000	33	1,540,000	1,540,000	15	102,667	8	718,667	100	28,747
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 台	143,220	33	47,740	47,740	7	6,820	4	20,460	100	818
管理機	3.5ps	1 台	188,100	33	62,700	62,700	7	8,957	4	26,872	100	1,075
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	70,400	33	23,467	23,467	7	3,352	4	10,057	100	402
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	312,400	33	104,133	104,133	7	14,876	4	44,628	100	1,785
トラクタ	4WD 20ps	1 台	1,973,400	33	657,800	657,800	7	93,971	4	281,915	50	5,638
ロータリ	160cm	1 台	325,600	33	108,533	108,533	7	15,505	4	46,515	50	930
畦立てマルチャー	14～25ps	1 台	518,100	50	259,050	259,050	7	37,007	4	111,022	100	4,441
下葉取り機		1 台	231,000	33	77,000	77,000	7	11,000	4	33,000	100	1,320
刈払機		1 台	60,500	33	20,167	20,167	7	2,881	4	8,643	100	346
軽トラック	660cc、4WD、350kg積	1 台	1,200,000	33	400,000	400,000	4	100,000	2	200,000	100	8,000
合計			9,642,720		3,300,590	3,300,590		397,036		1,501,778		53,502

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
きく	夢の露、神馬など	秋 (9/中～10/下出荷)	32,000本	排水良好な水田転換畑	20a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (ℓ/10 a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
作業名									
冬至芽移植	11/上	冬至芽	500～700株	人力	○優良な親株を無加温ハウス内に移植する。床面積60～80㎡ ○株元に油かすを10kg/a 施用する。		2.0	8.0	
親株の摘心	2/中～4/中	油かす	10kg	人力	○草丈が10cm程度伸長した時に2回摘心して、わき芽を増やす。 ○親株は草丈35cm以下で管理する。		1.0	8.0	
挿 し 芽	4/中～5/中	オキシベロン液剤 162穴セル成型トレイ メトロミックス350 ポリフィルム 50%寒冷紗	30ml 90～120枚 7～9袋(600ℓ) 3m×15m 3m×15m	人力	○定植予定日の2週間前に挿し芽する。 ○挿し穂の折口にはオキシベロン2倍液を処理し、挿し芽床をポリフィルムで覆い、その上に寒冷紗をかける。		2.0	40.0	
本 圃 準 備	4/下～5/下	堆肥 苦土入りセルカ ミネラル宝素 苦土重焼燐 花子 白黒マルチ0.03×135	3 t 100kg 100kg 60kg 300kg 700m	トラクタ ロータリ マルチャー 灌水ポンプ	○畝幅80～85cm、通路50cm ○灌水を十分ににする。	6.0 1.0	2.0	14.0	軽油 13.5 ガソリン 2.0 ガソリン 1.0
定 植	5/上～6/上			人力	○定植日は採花予定日から到花日数を差し引いた日とする。 ○マルチに穴を開ける。 ○株間10～15cm、条間30～35cm、定植苗数は12,000～15,000株		2.0	48.0	
摘 心	5/中～6/下			人力	○定植10～15日後、4～5節残して摘心する。		2.0	8.0	
整 枝	6/上～7/上			人力	○大きさのそろった芽を2～3本に整理する (35,000～36,000本/10 a)。		2.0	30.0	
支柱立て・ ネット張り	6/上～10/上	フラワーネット 12cm×5目 支柱パイプ 130cm	700m 1,000本	人力	○定植時から草丈30cmまでに行う。 ○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。		2.0	24.0	
除 草	5/下～9/中	ゴーゴーサン乳剤	200ml	背負動噴	○全面土壌散布・手取除草する。	1.0	2.0	16.0	ガソリン 1.0
灌 水	5/上～10/中			灌水ポンプ	○乾燥時に適宜灌水する。	4.0	1.0	4.0	ガソリン 4.0
摘芽・摘蕾	9/上～10/中			人力	○蕾が小豆粒大になったら、頂花を残して摘蕾する。わき芽は順次摘除する。		2.0	240.0	
わい化剤散布	9/上～9/中	ビーナイン水溶剤80	200 g	背負式動力 噴霧機	○出蕾時にわい化剤を散布する。	3.0	1.0	6.0	ガソリン 3.0
収穫・調製	9/中～10/下	段ボール 輪ゴム クラフトテープ	320箱 16ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20.0	2.0	400.0	ガソリン 20.0 電気 100.0

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 ($\frac{\text{kg}}{\text{ha}}$ ／10 a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
病虫害防除	通年	ジェイエース粒剤 アルバリン顆粒水溶剤 カスケード乳剤 モスピラン水溶剤 ヨーバルフロアブル コロマイト水和剤 コテツフロアブル ハチハチ乳剤 ジマンダイセンフロアブル ダコニール1000 サブロー乳剤 アミスター207フロアブル	18kg 200g 200ml 200g 240ml 200g 200 g 400ml 2,664ml 1,200ml 1000ml 500ml	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	49.0 24.0	1	61.0	ガソリン 49.0 ガソリン 24.0
合 計								907.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	1,910,400	秋ぎく 生産量①： 32,000 本 単価②： 60 円／本
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	1,910,400	
生 産	生産原価	種 苗 費	100,000	
		肥 料 費	103,248	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	75,646	〃
		諸 材 料 費	92,185	〃
		動力光熱費	27,989	
		農 具 費	35,889	機械負担価額×4％
		建物等修繕費	7,700	建物・構築物負担価額×1％
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	99,990	
		減価償却費⑤	198,518	別表のとおり
		土地改良費	8,167	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	749,331	
費	販売費一般	出荷資材費	80,442	
	管理費	販 売 諸 費	338,000	
		諸税負担金	7,327	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,413	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,642	借入資本利子率2％
		小計 (C)	436,824	
経 営 費 (D)		1,186,155	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧		1,052,870	農 従 労 働 時 間： 795.9 生産管理労働時間 14.0 1,300 円／時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		2,239,025	主産物単位当たり 70 円／1本 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	40,777	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) ／2×0.04	
利子(F)	固定資本利子	26,751	利子率4％	
自 作 地 地 代 (G)		10,267		
全算入生産費 (H)		2,316,821	生産物単位当たり 72 円／1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		724,245	時間当たり 894 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		38	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		-406,421	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		646,449	時間当たり 798 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		-328,625	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
冬至芽移植																													8.0						8.0		
親株の摘芯					2.0			3.0			3.0																							8.0			
挿し芽												40.0																						40.0			
本圃準備											14.0																							14.0			
定植													48.0																					48.0			
摘芯														8.0																				8.0			
整枝																10.0	20.0																	30.0			
支柱立て・ネット張り															12.0		3.0		3.0		3.0		3.0										24.0				
除草														4.0			4.0			4.0		4.0											16.0				
灌水												1.0		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5									4.0				
摘芽・摘蕾																			16.0	32.0	32.0	64.0	64.0	32.0									240.0				
わい化剤散布																				2.0	2.0	2.0											6.0				
収穫・調製																								50.0	100.0	100.0	100.0	50.0						400.0			
病虫害防除	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.5	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	1.0		1.0		1.0		61.0
計	1.0	0.0	1.0	0.0	3.0	0.0	1.0	3.0	1.0	0.0	18.0	40.0	2.0	48.0	14.0	14.0	12.5	30.0	3.5	6.0	23.5	40.5	42.0	72.5	68.0	86.0	104.0	104.0	104.0	53.5	9.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	907.0

生産管理労働時間

(14.0)